

令和5年度 第2回 高知支部評議会

# 高知支部の健康課題と今後の取組について

令和5年10月20日

# 1. データヘルス計画について

# 第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）の実施状況

- データヘルス計画とは、医療保険者が有している加入者の医療費情報や健診情報などのデータ分析に基づき、加入者の健康上の特徴を踏まえた取り組みなどを行っていくための保健事業実施計画のこと。
- 平成30年度から、6か年の計画である第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）をスタートしており、令和5年度は最終評価年度にあたる。
- 直近の実績（令和4年度実績）より、上位目標（令和10年3月末時点）および中位目標（令和6年3月末時点）の目標達成見込みを算出。

## 目標の設定レベル

## 高知支部の目標設定

上位目標

・重大な疾病の発症を防ぐ（10年程度先に成果を評価する目標）

・壮年期(40～64歳)の脳血管疾患の発症を減らす  
(H28年度当時の新規患者1,098名(内入院151名))

中位目標

・検査値の改善を目指す目標（6年後に達成すべき目標）

・壮年期(40～64歳)のⅡ度以上高血圧の割合がH28年度の5.0%  
(2,718人)より減る。  
・壮年期(40～64歳)の空腹時血糖値126以上の割合がH28年度  
6.1%(3,316人)より減る。

下位目標

・生活習慣の改善、実施率の向上など、上位目標を達成するための下位の目標

・未治療者受診勧奨  
・特定健診実施率をH35年度65%にする  
・特定保健指導実施率をH35年度35%にする  
・特定保健指導対象者の割合がH28年度19.9%(13,853人)より減る

## 上位目標の達成見込み

### 上位目標に対する直近の状況

<高知支部の上位目標設定内容>

○28年度当時の新規患者1,098名(内入院151名)  
【加入者数に対する新規患者割合1.04%(内入院0.14%)】

<直近の実績(令和4年度実績)>

○新規患者744名(内入院119名)  
【新規患者割合0.71%(内入院0.11%)】

### 成功要因

脳血管疾患は高知県では減少する傾向にあり、官民連携(高知県の「日本一の健康長寿県構想」)における取組を加入者に浸透させることで発症予防効果がでてきていると考えられる。

現状の伸び率で算出するとR10年3月末時点では、新規患者506名(内入院94名)となる見込み。

# 第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）の実施状況

## 中位目標の達成見込み

### 中位目標に対する直近の状況

＜高知支部の中位目標設定内容＞

○壮年期(40～64歳)のⅡ度以上高血圧の割合がH28年度の**5.0%(2,718人)**より減る。



＜直近の実績(令和4年度実績)＞

○壮年期(40～64歳)のⅡ度以上高血圧の割合が**6.1%(4,354名)**



○壮年期(40～64歳)の空腹時血糖値126以上の割合がH28年度の**6.1%(3,316人)**より減る。

○壮年期(40～64歳)の空腹時血糖値126以上の割合が**6.8%(4,887名)**

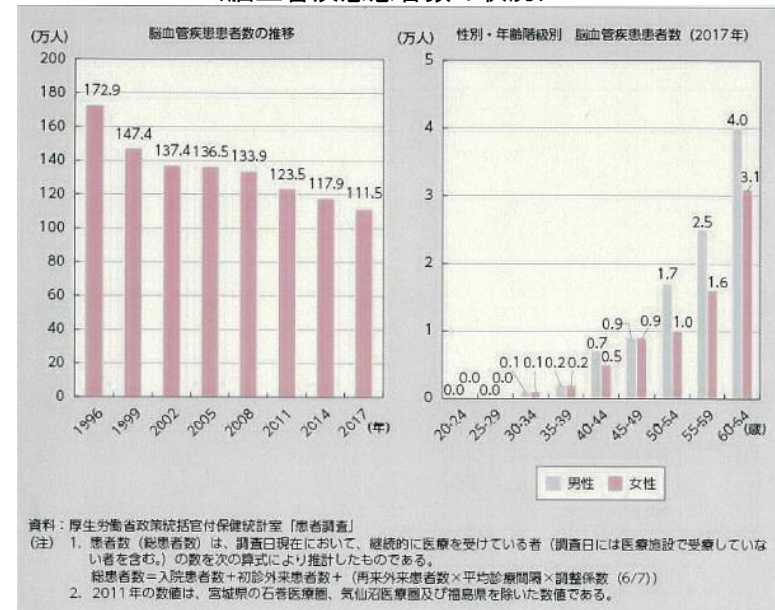
### 阻害要因

- 新型コロナウイルス感染拡大により、保健指導実施率が低迷し、生活習慣の改善に繋げることができなかった。
- 未治療者受診勧奨についても事業所への訪問協力依頼ができなかった。

## 上位目標達成見込みについての見解

- 日本における脳血管疾患患者数は年々減少傾向にある。  
(右図の脳血管疾患患者数の状況を参照)
- 患者数減少の要因として、医療技術の進歩や高血圧・糖尿病・脂質異常症などの予防医療の推進などが考えられる。  
また、近年は新型コロナウイルス感染拡大による受診控えも患者数減少に影響していることも想定される。
- ただし、患者数減少は複合的な要因であり、中位目標として設定している高血圧、代謝リスク者の割合が増えている傾向を踏まえると予断は許さない状況。  
引き続き、ポピュレーションアプローチや特定保健指導、未治療者受診勧奨などの予防医療に注力していく必要がある。

### ＜脳血管疾患患者数の状況＞



## (1) 第2期データヘルス計画

### ① 令和5年度末の目標値に対する達成見込みについて

- 達成度合いについて、100%以上を(A)、80%以上100%未満を(B)、80%未満を(C)とした場合の各支部の目標値に対する達成見込みは以下のとおり。

(達成度が高い順)

#### (A) 目標到達度100%以上・・・7支部(全体の1割強)

石川、山梨、埼玉、北海道、京都、鹿児島、香川

#### (B) 目標到達度80%以上100%未満・・・34支部(全体の7割強)

三重、静岡、秋田、福島、青森、新潟、大阪、佐賀、神奈川、熊本、宮崎、宮城、岡山、徳島、山形、福岡、山口、長崎、大分、千葉、群馬、滋賀、長野、兵庫、高知、福井、栃木、鳥取、岐阜、愛媛、東京、広島、島根、富山

#### (C) 目標達成度80%未満・・・6支部(全体の1割強)

奈良、茨城、沖縄、和歌山、岩手、愛知

### ② 第2期データヘルス計画の総括

- 上記①(A)の支部の共通点として、支部単独で実施するのではなく、事業所、健診機関、各種団体等と連携し、顔の見える関係性を構築している傾向が窺えた。
- 一方で、上記①(C)の支部の共通として、各種事業自体は実施しているものの、介入すべき対象者数に見合った実施体制が整っておらず、取組が十分に実施できていなかった。
- より多くの対象者にアプローチするためには、保健事業における基盤的取組(特定健診・特定保健指導、重症化予防・コラボヘルス)の体制整備を図るとともに、データ分析結果を踏まえた健康課題に対し、戦略的に事業を展開していくことが重要。

## (2) 第3期データヘルス計画

- 第2期データヘルス計画の総括を踏まえ、第3期データヘルス計画において力点を置くべき事項等を整理し、データヘルス計画策定の手引き、様式等の見直しを実施する。
- 現時点では以下のスケジュールを予定しており、支部においては現状評価、課題、重点施策の検討を進めていただきたい。
- なお、第3期データヘルス計画の策定にあたっては、データ分析に基づき、「それぞれの地域において重点的に予防・改善すべき疾患は何か」→「当該疾患を予防・改善するために着目すべき健診項目は何か」→「着目した健診項目の検査値に影響を及ぼしている生活習慣は何か」→「その生活習慣を改善するためには、どのような対象者にどのようなアプローチをすべきか」といった思考プロセスを経た上で、特定保健指導や重症化予防等の取組を計画に反映していただきたい。
- 検討の際、重点的に予防・改善すべき疾患に対する効果的な取組を適切に見定めるためには、専門職たる保健師の知識が必要であり、支部保健師の積極的関与をお願いしたい。

### 【現時点で想定されるスケジュール】

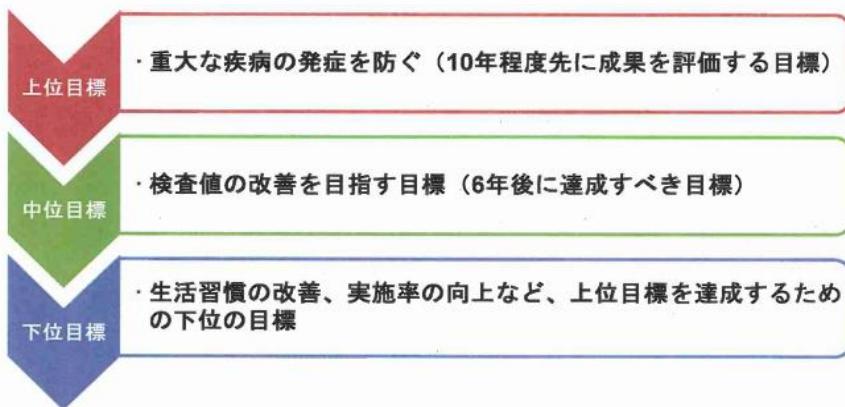


# 第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）の策定方針

- 令和6年度から令和11年度の6か年計画として、第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）を今年度中に策定する予定。
- 計画策定にあたっては、第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）と現状の高知支部の健康課題を踏まえ、目標設定を検討。
- 目標達成に向けた取り組みも併せて検討する。

スケジュール概要	2023(令和5)年度						
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実施計画							
第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)の進捗管理	・振り返りシート本部提出(初旬) ・データヘルス進捗会議にて進捗報告(下旬)	・健康づくり推進協議会及び評議会にて進捗報告					・第2期結果報告(見込み)
第3期保健事業実施計画(データヘルス計画)の策定・公表	・振り返りシート本部提出(初旬) ・データヘルス進捗会議にて目標設定等の意見確認(下旬)	・健康づくり推進協議会にて支部健康課題を基に目標設定等の意見確認	・計画策定の事務連絡発出(初旬) ・シート作成	・シート作成(修正) →必要に応じて修正	・シート作成(再修正) →評議会の意見を踏まえて修正		・公表 (ホームページ掲載)

## 第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）の策定時における全支部共通の設定レベル



## 第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）の目標設定方針（暫定）

### 【設定方針】

目標設定に関しては、11月初旬に示される事務連絡に基づき設定するが、現時点では、以下の前提で目標設定を行う。

- 地域・職域の医療状況や健診結果等から重大な疾病の発症に関する分析を進めつつも、10年先の疾病の予防について目標としては設定しない。
- **6年後の検査値の改善**を目指す目標を検討する。
- 支部の健康課題とその予防策(取り組み)を洗い出し、支部として実現可能な施策を検討する。
- 11月の事務連絡より、目標や取り組み案などを調整。

## **2. 高知支部の健康課題と今後の取組について**



## **<高知支部の健康課題>**

**疾病分類から見た健康課題について**

# 高知支部の健康課題について

情報系(Tableau)より集計

## 疾病分類別1人当たり医療費(入院) 加入者全体

### 支部基本情報 医療費情報②

表示支部  
全支部

統計年度  
2022  
支部  
39-高知支部

入院/入院外選択  
入院

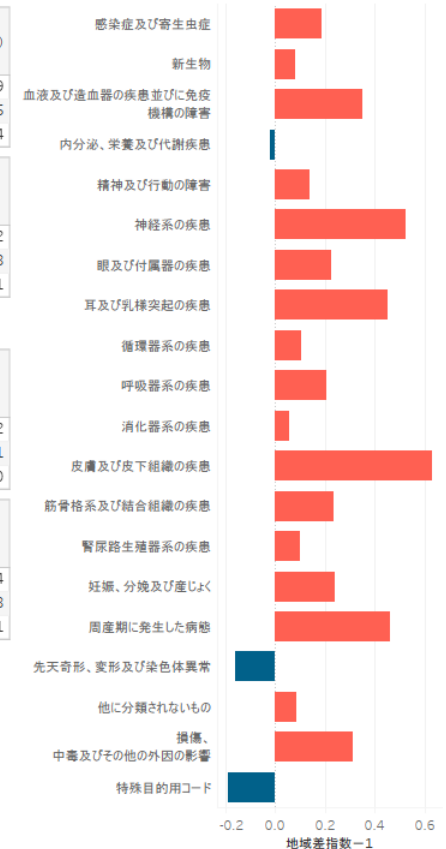
#### 2-2. 疾病分類別1人当たり医療費の地域差指数-1(入院)

統計年度	感染症及び寄生虫症(入院)	新生物(入院)	血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害(入院)	内分泌、栄養及び代謝疾患(入院)	精神及び行動の障害(入院)	神経系の疾患(入院)	眼及び付属器の疾患(入院)	耳及び乳様突起の疾患(入院)	循環器系の疾患(入院)	呼吸器系の疾患(入院)
2020	0.242	0.053	-0.243	0.019	0.358	0.520	0.178	0.372	0.140	0.099
2021	0.132	0.047	0.266	-0.043	0.243	0.490	0.298	0.562	0.120	0.105
2022	0.186	0.079	0.353	-0.022	0.140	0.523	0.226	0.454	0.108	0.204

統計年度	消化器系の疾患(入院)	皮膚及び皮下組織の疾患(入院)	筋骨格系及び結合組織の疾患(入院)	腎尿路生殖器系の疾患(入院)	妊娠、分娩及び産じょく(入院)	周産期に発生した病態(入院)	先天奇形、変形及び染色体異常(入院)	他に分類されないもの(入院)	損傷、中毒及びその他の外因の影響(入院)	特殊目的用コード(入院)
2020	0.037	0.210	0.247	0.165	0.208	0.628	-0.221	0.474	0.247	-0.562
2021	0.110	0.734	0.238	0.202	0.220	0.295	0.018	0.457	0.341	-0.308
2022	0.058	0.628	0.234	0.102	0.239	0.460	-0.161	0.088	0.311	-0.191

#### 疾病分類別1人当たり医療費の地域差指数-1



#### 2-2. 疾病分類別1人当たり医療費の地域差指数-1(入院外)

統計年度	感染症及び寄生虫症(入院外)	新生物(入院外)	血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害(入院外)	内分泌、栄養及び代謝疾患(入院外)	精神及び行動の障害(入院外)	神経系の疾患(入院外)	眼及び付属器の疾患(入院外)	耳及び乳様突起の疾患(入院外)	循環器系の疾患(入院外)	呼吸器系の疾患(入院外)
2020	-0.110	-0.055	-0.059	-0.074	0.078	0.029	-0.095	0.154	0.093	-0.022
2021	-0.051	-0.073	0.029	-0.097	0.055	0.045	-0.133	0.161	0.066	-0.061
2022	-0.084	0.013	0.048	-0.089	0.039	0.070	-0.152	0.127	0.108	-0.130

統計年度	消化器系の疾患(入院外)	皮膚及び皮下組織の疾患(入院外)	筋骨格系及び結合組織の疾患(入院外)	腎尿路生殖器系の疾患(入院外)	妊娠、分娩及び産じょく(入院外)	周産期に発生した病態(入院外)	先天奇形、変形及び染色体異常(入院外)	他に分類されないもの(入院外)	損傷、中毒及びその他の外因の影響(入院外)	特殊目的用コード(入院外)
2020	-0.073	-0.120	0.258	0.059	0.064	0.420	0.217	-0.144	0.015	-0.594
2021	-0.091	-0.105	0.222	0.070	0.032	0.391	0.251	-0.210	-0.006	-0.568
2022	-0.110	-0.130	0.194	0.018	0.016	0.429	0.161	-0.262	-0.008	-0.001

#### 2-3. 時間外受診率の地域差指数-1

統計年度	初診	再診
2020	-0.163	-0.400
2021	-0.171	-0.410
2022	-0.165	-0.433

※調剤に係る医療費については、処方元である入院外・歯科に含めています。

## 疾病分類別1人当たり医療費(入院) 加入者全体

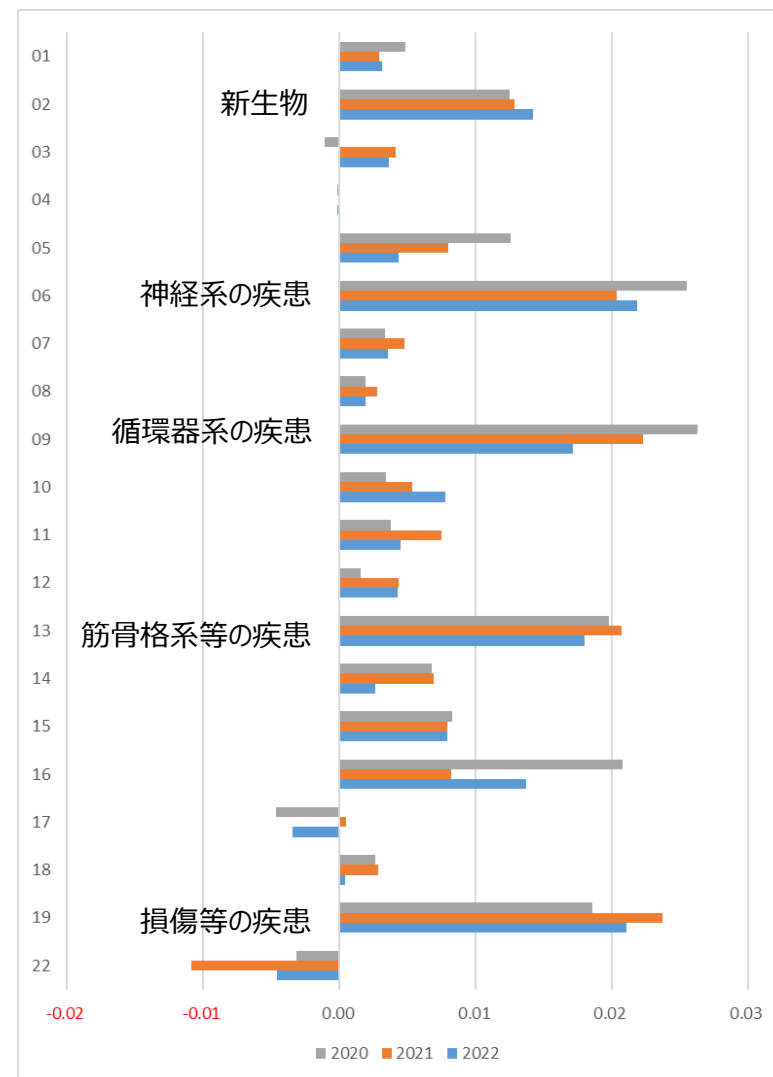
2-2. 疾病分類別1人当たり医療費の地域差指数-1の寄与度(疾病分類が不明なものを除く。)

<入院>

年度	I 感染症 及び寄生 虫症	II 新生物	III 血液及 び造血器 の疾患並 びに免疫 機能の障 害	IV 内分 泌、栄養 及び代謝 疾患	V 精神及 び行動の 障害	VI 神経系 の疾患	VII 眼及び 付属器の 疾患	VIII 耳及び 乳様突起 の疾患	IX 循環器 系の疾患	X 呼吸器 系の疾患
2020	0.005	0.012	-0.001	-0.000	0.013	0.025	0.003	0.002	0.026	0.003
2021	0.003	0.013	0.004	-0.000	0.008	0.020	0.005	0.003	0.022	0.005
2022	0.003	0.014	0.004	-0.000	0.004	0.022	0.004	0.002	0.017	0.008

年度	X I 消化 器系の疾 患	X II 皮膚 及び皮下 組織の疾 患	X III 筋骨 格系及び 結合組織 の疾患	X IV 腎尿 路生殖器 系の疾患	X V 妊 娠、分娩 及び産 じょく	X VI 周産 期に発生 した病態	X VII 先天 奇形、変 形及び染 色体異常	X VIII 症 状、徴候 及び異常 臨床所 見・異常 検査所見 で他に分 類されな いもの	X IX 損 傷、中毒 及びその 他の外因 の影響	X X 特殊 目的コー ド
2020	0.004	0.002	0.020	0.007	0.008	0.021	-0.005	0.003	0.019	-0.003
2021	0.008	0.004	0.021	0.007	0.008	0.008	0.000	0.003	0.024	-0.011
2022	0.004	0.004	0.018	0.003	0.008	0.014	-0.003	0.000	0.021	-0.005

※各年度の上位5疾病に色付け



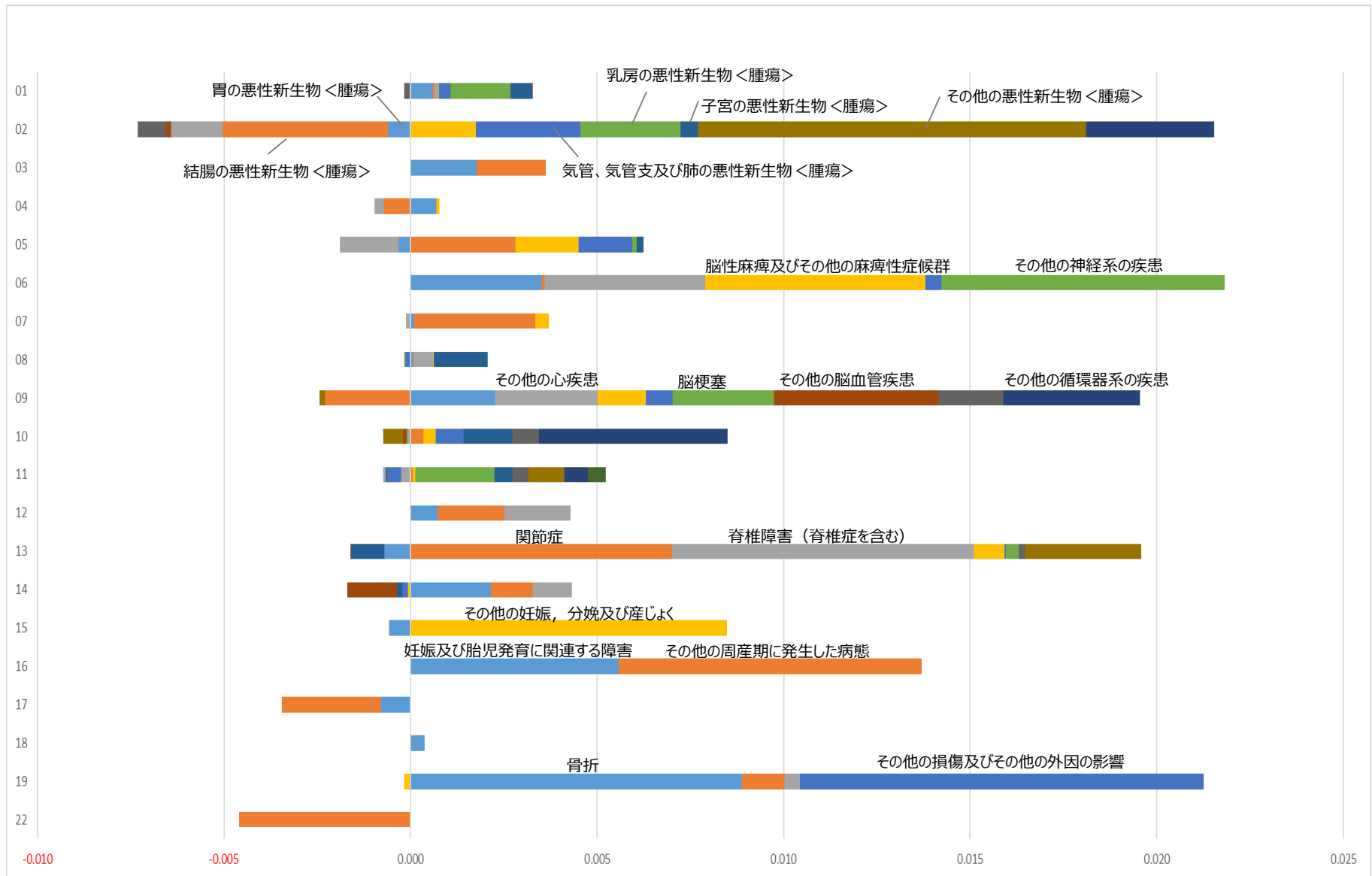
# 高知支部の健康課題について

疾病分類別1人当たり医療費(入院)  
被保険者のみ

加入者基本情報・医療費基本情報より集計

疾病分類コード4桁別1人当たり医療費の地域差指数 - 1の寄与度(入院)

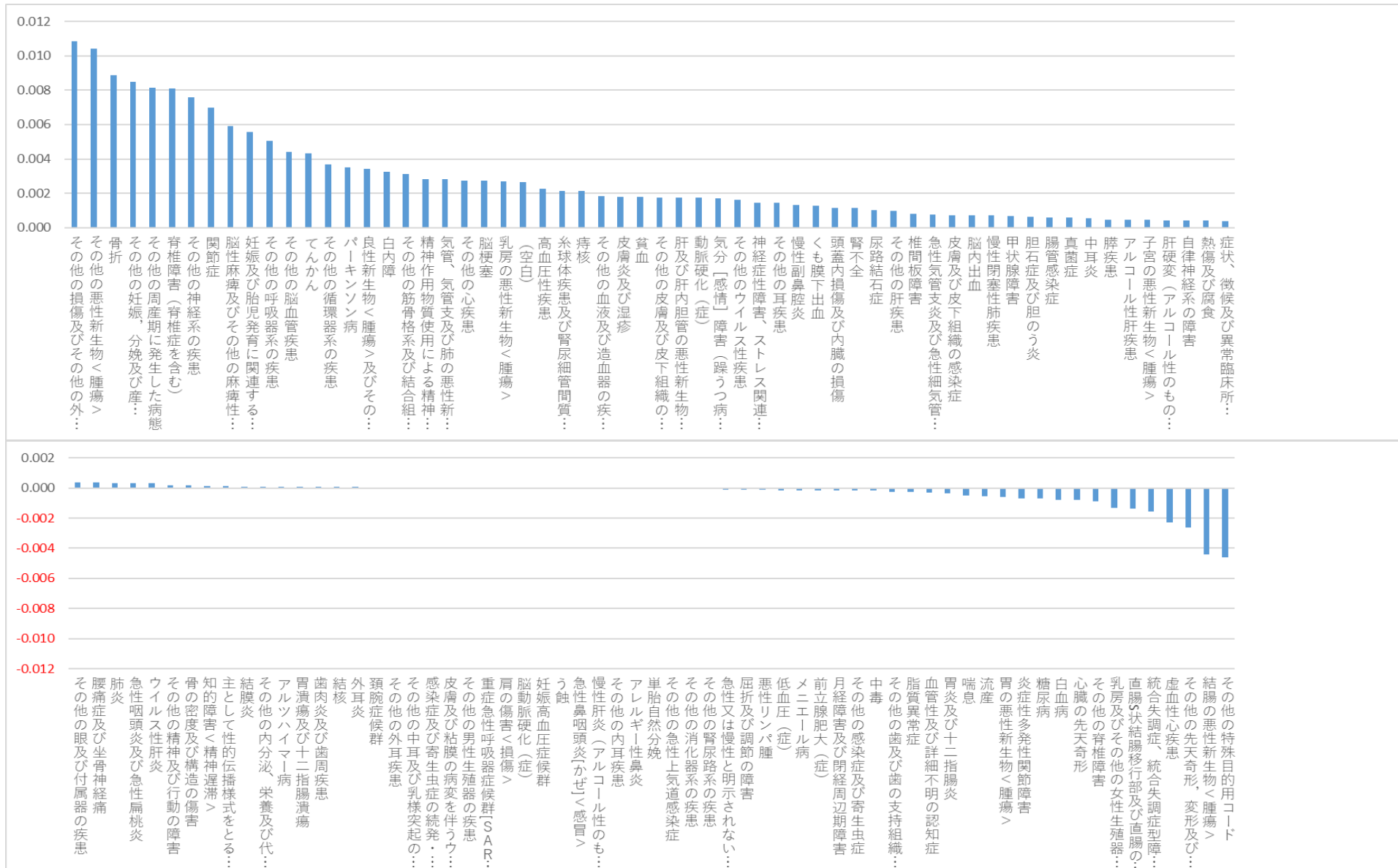
2022



# 高知支部の健康課題について

## 疾病分類別1人当たり医療費(入院)

加入者基本情報・医療費基本情報より集計



## **<高知支部の健康課題>**

**健診結果から見た健康課題について**

## 健診情報 (健診結果・問診結果等)

### 支部基本情報 健診情報

表示支部  
自支部のみ

統計年度  
2022

支部  
すべて

#### 3-1. 健診受診率等

統計年度	生活習慣病予防健診受診率	事業者健診受診率	特定健診受診率	特定保健指導実施率	勤労後3か月以内受診率	コラヘルス宣言事業所数
2020	61.6%	8.1%	23.9%	14.5%	0.0%	506
2021	63.6%	6.0%	27.0%	16.4%	0.0%	615
2022	67.7%	8.6%	29.3%	15.1%	9.2%	707

※以下項目には当面の間、暫定値が表示されます。  
・事業者健診受診率

#### 3-2. 健診結果及び問診結果

統計年度	メタボリックシンドロームのリスク保有率	メタボリックシンドロームのリスク保有率 地域差指数-1	メタボリックリスク予備群の割合	メタボリックリスク予備群の割合 地域差指数-1	腹囲のリスク保有率	腹囲のリスク保有率 地域差指数-1	血圧のリスク保有率	血圧のリスク保有率 地域差指数-1
2020	16.2%	0.035	12.4%	-0.038	34.9%	-0.015	45.7%	0.007
2021	16.7%	0.073	12.5%	-0.018	35.7%	0.015	46.1%	0.014
2022	16.9%	0.075	12.2%	-0.039	35.2%	0.004	46.3%	0.007

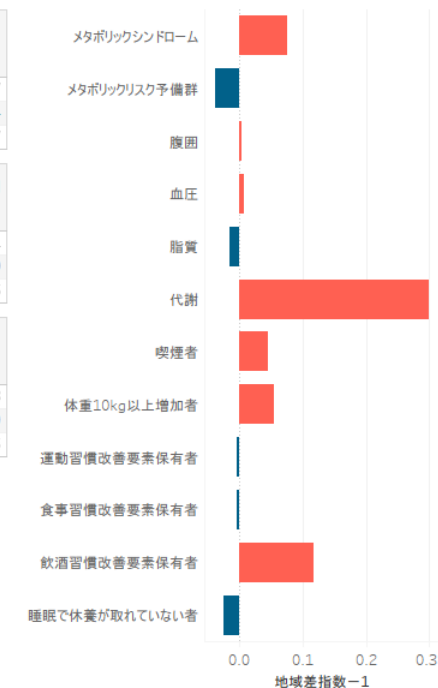
  

統計年度	脂質のリスク保有率	脂質のリスク保有率 地域差指数-1	代謝のリスク保有率	代謝のリスク保有率 地域差指数-1	喫煙者の割合	喫煙者の割合 地域差指数-1	体重10kg以上増加者の割合	体重10kg以上増加者の割合 地域差指数-1
2020	27.5%	-0.040	19.7%	0.280	29.9%	0.045	43.0%	0.051
2021	27.6%	-0.031	19.8%	0.280	29.9%	0.071	43.5%	0.059
2022	28.2%	-0.015	20.4%	0.300	29.0%	0.045	43.2%	0.055

統計年度	運動習慣改善要素保有者の割合	運動習慣改善要素保有者の割合 地域差指数-1	食事習慣改善要素保有者の割合	食事習慣改善要素保有者の割合 地域差指数-1	飲酒習慣改善要素保有者の割合	飲酒習慣改善要素保有者の割合 地域差指数-1	睡眠で休養が取れていない者の割合	睡眠で休養が取れていない者の割合 地域差指数-1
2020	89.9%	-0.004	68.9%	-0.007	32.5%	0.122	36.7%	0.013
2021	89.5%	-0.004	69.4%	-0.001	32.3%	0.142	36.0%	-0.010
2022	89.1%	-0.004	69.2%	-0.004	31.3%	0.116	36.4%	-0.025

#### 健診結果及び問診結果の地域差指数-1

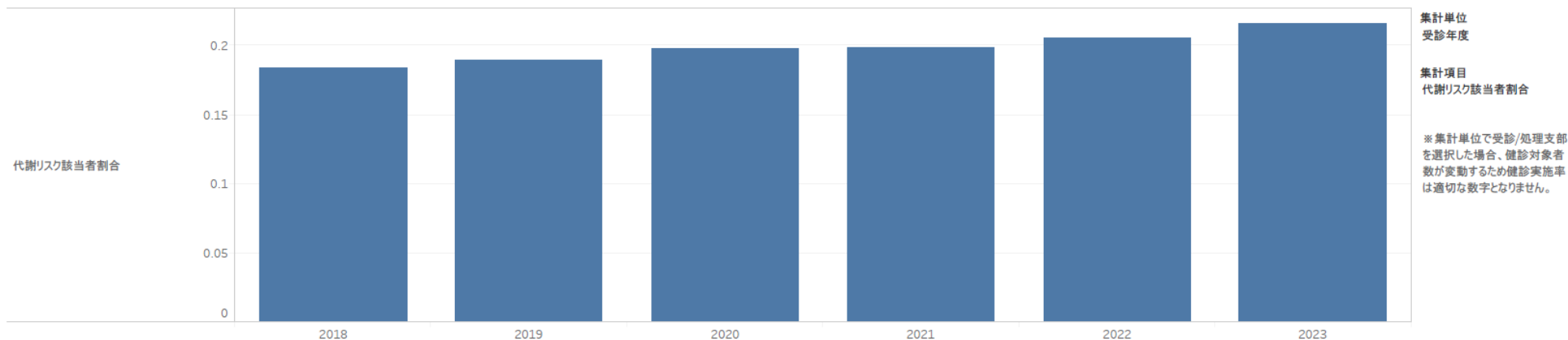


## 高知支部・健診実施結果状況 (代謝リスク該当者割合)

### 健診実施結果状況

表示支部  
自支部のみ

受診年度 すべて  
 加入支部 すべて  
 受診/処理支部 すべて  
 地域(都道府県):加入者住所 すべて  
 地域(二次医療圏):加入者住所 すべて  
 地域(市区町村):加入者住所 すべて  
 任継フラグ すべて  
 被保険者・被扶養者 すべて  
 性別 すべて  
 年齢階級(年度末) すべて  
 業態 すべて  
 事業所規模 すべて  
 健診区分 すべて  
 前年度健診受診有無 すべて  
 前々年度健診受診有無 すべて



集計単位	健診対象者数(加入者:40歳以上)	特定健診受診者数(加入者)	特定健診実施率(加入者)	空腹時血糖(平均)	HbA1c(平均)	代謝リスク該当者割合
2018	129,588	77,476	59.8%	101.66	5.68	18.4%
2019	131,060	80,736	61.6%	101.93	5.72	19.0%
2020	131,596	80,751	61.4%	102.48	5.72	19.8%
2021	131,671	81,815	62.1%	102.40	5.74	19.8%
2022	125,581	85,757	68.3%	102.81	5.72	20.5%
2023	127,454	19,203	15.1%	103.44	5.81	21.6%

表示項目  
複数の値

※ 健診区分で「事業者」が選択されている場合、以下関連項目には当面の間、暫定値が表示されます。  
 ・健診受診者数  
 ・健診実施率



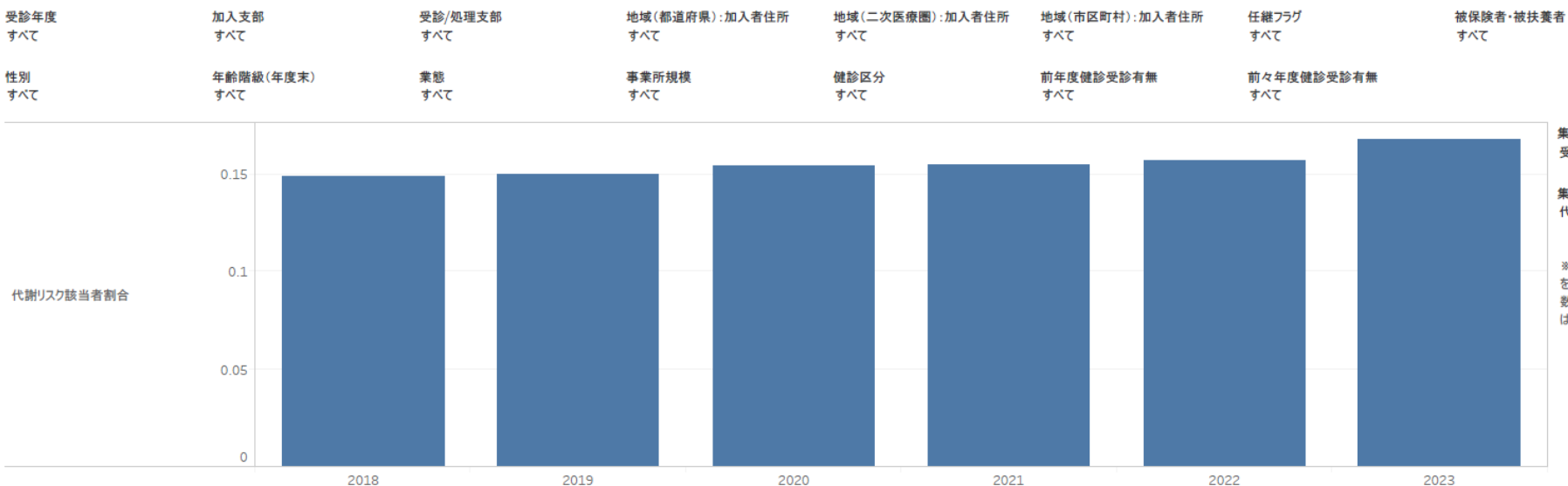
# 高知支部の健康課題について

業態基本情報より集計

## 全国平均・健診実施結果状況 (代謝リスク該当者割合)

### 健診実施結果状況

表示支部  
全支部



集計単位  
受診年度  
集計項目  
代謝リスク該当者割合

※集計単位で受診/処理支部を選択した場合、健診対象者数が増えるため健診実施率は適切な数字となりません。

集計単位	健診対象者数(加入者:40歳以上)	特定健診受診者数(加入者)	特定健診実施率(加入者)	空腹時血糖(平均)	HbA1c(平均)	代謝リスク該当者割合
2018	19,446,955	9,878,075	50.8%	98.34	5.65	14.9%
2019	20,235,640	10,647,320	52.6%	98.37	5.64	15.0%
2020	20,448,652	10,511,785	51.4%	98.73	5.64	15.4%
2021	20,689,124	11,349,914	54.9%	98.64	5.64	15.5%
2022	20,229,239	11,723,064	58.0%	98.61	5.65	15.7%
2023	20,758,386	2,486,610	12.0%	99.28	5.68	16.8%

表示項目  
複数の値

※健診区分で「事業者」が選択されている場合、以下関連項目には当面の間、暫定値が表示されます。  
・健診受診者数  
・健診実施率

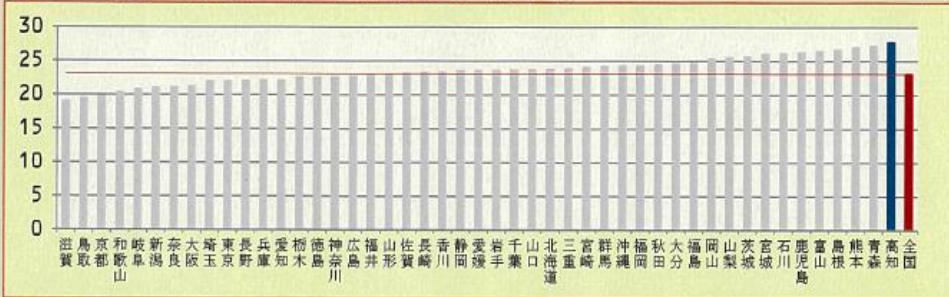
## 代謝リスク保有者の割合 (高知支部・男女)

男性

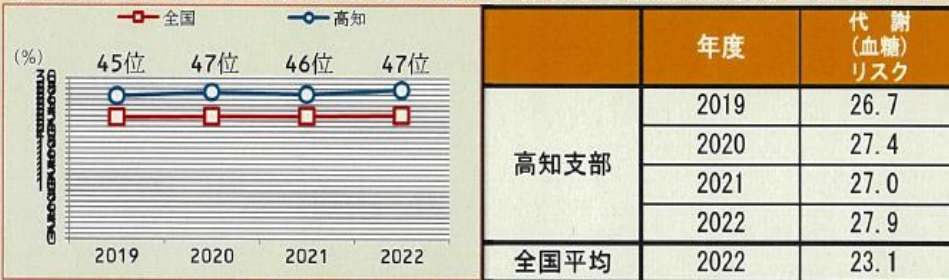
女性

### 指標5【代謝(血糖)リスク保有者の割合】

①2022年度の全支部のリスク保有率と全国平均 (%)



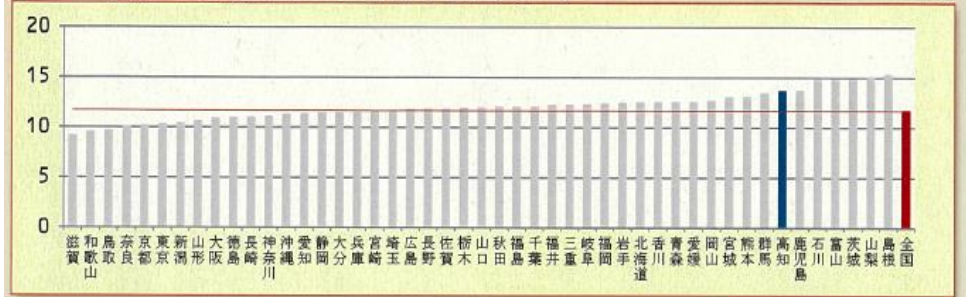
②2019年度から2022年度の自支部のリスク保有率と全国順位及び全国平均 (%)



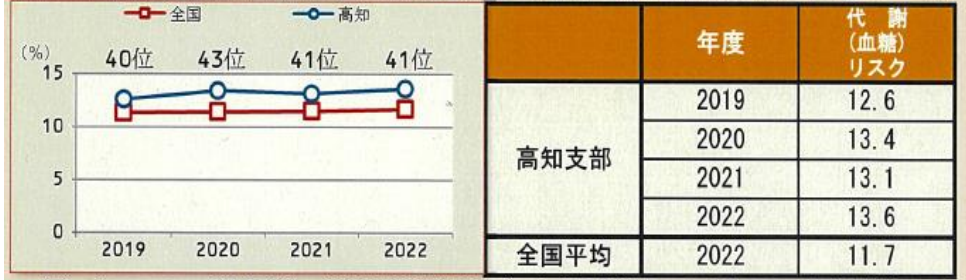
(データソース: 「特定健診、特定保健指導分析データ分析報告書」より各項目の年齢調整割合)

### 指標5【代謝(血糖)リスク保有者の割合】

①2022年度の全支部のリスク保有率と全国平均 (%)



②2019年度から2022年度の自支部のリスク保有率と全国順位及び全国平均 (%)



(データソース: 「特定健診、特定保健指導分析データ分析報告書」より各項目の年齢調整割合)

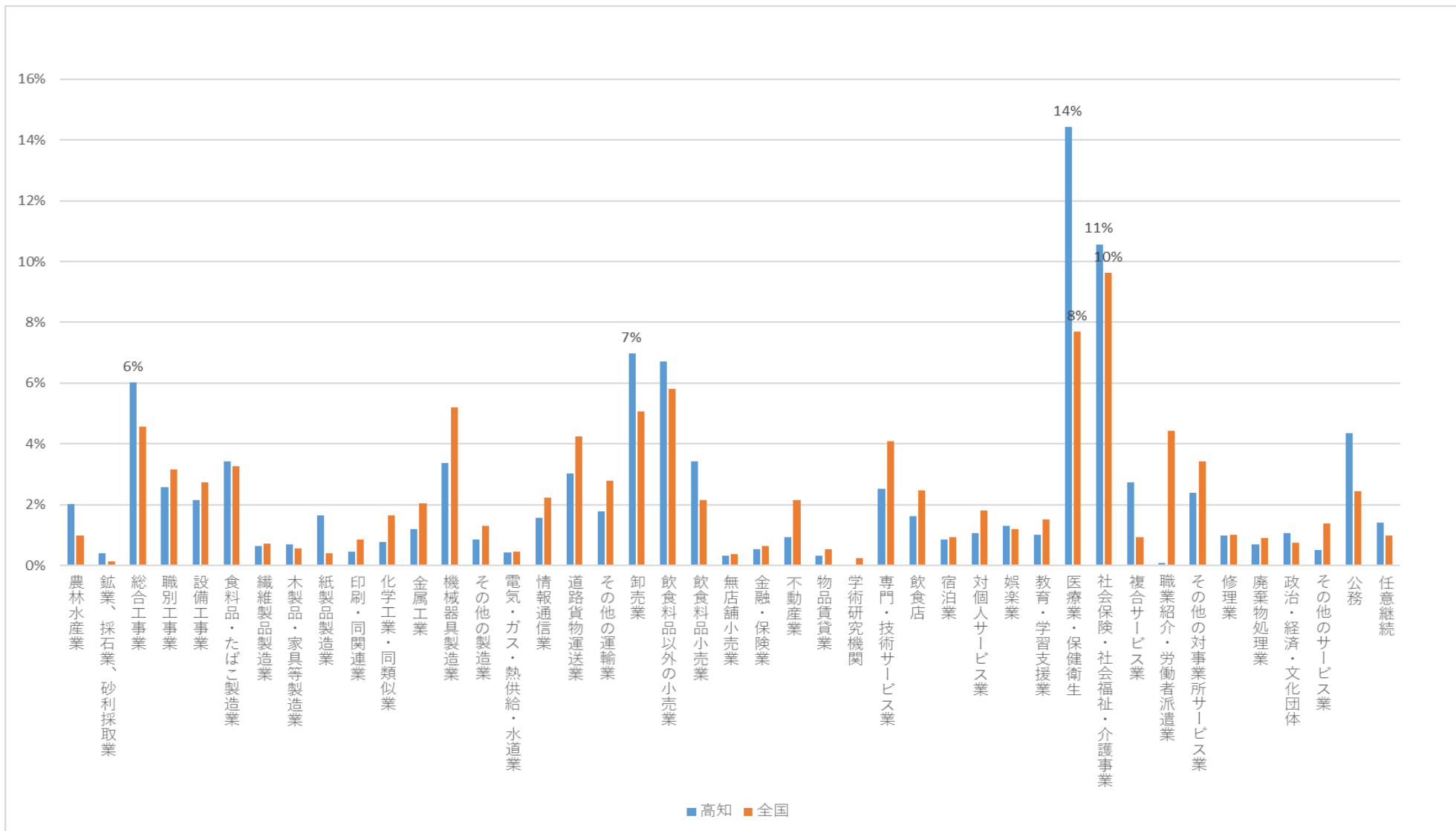
## **<高知支部の健康課題>**

### **業態別から見た健康課題について**

# 高知支部の健康課題について

業態基本情報より集計

業態別加入割合(令和3年度)  
被保険者のみ



# 高知支部の健康課題について

業態基本情報より集計

## 業態別1人当たり医療費(入院) 被保険者のみ

### 2-5. 業態別1人当たり医療費の地域差指数-1の寄与度

<入院>

年度	1農林水産業	2鉱業・採石業・砂利採取業	3総合工事業	4職別工事業	5設備工事業	6食料品・たばこ製造業	7繊維製品製造業	8木製品・家具等製造業	9紙製品製造業	10印刷・同関連産業
2019	0.012	0.004	0.029	0.005	▲ 0.006	0.002	▲ 0.001	0.001	0.009	▲ 0.004
2020	0.013	0.001	0.025	▲ 0.001	▲ 0.006	▲ 0.002	0.002	0.003	0.006	▲ 0.006
2021	0.011	0.005	0.031	▲ 0.005	▲ 0.006	0.002	▲ 0.001	0.004	0.012	▲ 0.004

年度	11化学工業・同類似業	12金属工業	13機械器具製造業	14その他の製造業	15電気・ガス・熱供給・水道業	16情報通信業	17道路貨物運送業	18その他の運輸業	19卸売業	20飲食料品以外の小売業
2019	▲ 0.008	▲ 0.010	▲ 0.022	▲ 0.006	0.001	▲ 0.001	▲ 0.015	▲ 0.007	0.022	0.008
2020	▲ 0.007	▲ 0.008	▲ 0.019	▲ 0.005	0.002	▲ 0.001	▲ 0.010	▲ 0.008	0.026	0.010
2021	▲ 0.009	▲ 0.008	▲ 0.016	▲ 0.003	0.000	▲ 0.004	▲ 0.004	▲ 0.013	0.026	0.013

年度	21飲食料品小売業	22無店舗小売業	23金融・保険業	24不動産業	25物品賃貸業	26学術研究機関	27専門・技術サービス業	28飲食店	29宿泊業	30対個人サービス業
2019	0.009	0.002	0.000	▲ 0.011	▲ 0.000	▲ 0.001	▲ 0.011	▲ 0.007	▲ 0.003	▲ 0.005
2020	0.017	0.002	0.002	▲ 0.012	▲ 0.002	▲ 0.001	▲ 0.006	▲ 0.004	0.003	▲ 0.005
2021	0.020	0.003	0.001	▲ 0.014	0.001	▲ 0.002	▲ 0.008	▲ 0.001	0.002	▲ 0.000

年度	31娯楽業	32教育・学習支援業	33医療業・保健衛生	34社会保険・社会福祉・介護事業	35複合サービス業	36職業紹介・労働者派遣業	37その他の対事業所サービス業	38修理業	39廃棄物処理業	40政治・経済・文化団体
2019	0.003	▲ 0.001	0.064	0.011	0.023	▲ 0.024	▲ 0.016	▲ 0.003	0.002	0.002
2020	0.005	▲ 0.004	0.070	0.015	0.018	▲ 0.026	▲ 0.014	0.000	0.001	0.000
2021	0.004	▲ 0.004	0.077	0.006	0.015	▲ 0.027	▲ 0.014	▲ 0.001	▲ 0.001	0.005

年度	41その他のサービス業	42公務
2019	▲ 0.009	0.009
2020	▲ 0.008	0.016
2021	▲ 0.007	0.016

業態別1人当たり医療費(入院)  
被保険者のみ

業態別1人当たり医療費の地域差指数 - 1の寄与度 (入院)

2021

・スライド20をグラフにしたもの



# 高知支部の課題について（ジェネリック医薬品使用促進）

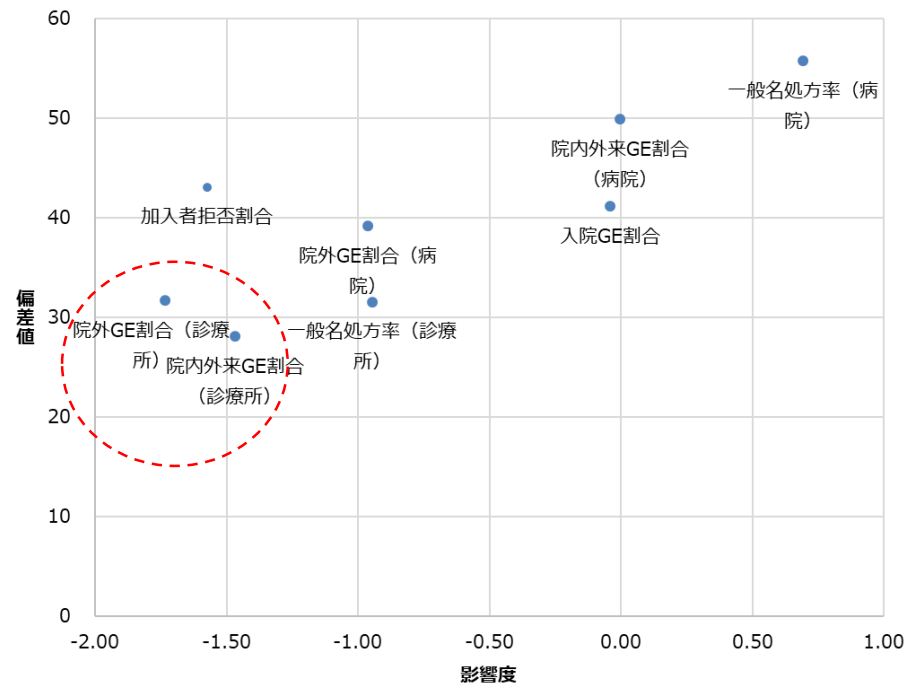
・ジェネリック医薬品使用割合は76.8%で全国45位（全国平均81.6% ▲4.8）

※令和4年10月診療分

高知	ジェネリック医薬品使用割合(全体)	【医療機関の視点】						院内処方率
		院内処方						
		院内処方ジェネリック医薬品使用割合		外来		病院		
偏差値	34	33	41	33	50	28	48	
指標数値	76.8	61.4	80.4	59.9	66.8	57.8	18.2	
順位	45	46	41	45	29	46	22	
影響度	-	-1.5	-0.0	-1.5	-0.0	-1.5	-	

高知	【医療機関の視点】					
	院外処方					
	院外処方ジェネリック医薬品使用割合			一般名処方率		
偏差値	33	39	32	33	56	32
指標数値	80.5	80.6	80.4	53.8	49.2	56.5
順位	46	40	47	45	15	46
影響度	-3.0	-1.0	-1.7	-1.8	+0.7	-0.9

高知	【薬局の視点】			【患者の視点】	
	調剤ジェネリック医薬品使用割合	一般名処方 限定調剤ジェネリック医薬品使用割合	院外処方率	加入者ジェネリック拒否割合	全保険者とのジェネリック医薬品使用割合の乖離
偏差値	33	33	48	43	41
指標数値	80.5	85.6	81.8	15.4	-0.1
順位	46	46	26	11	39
影響度	-3.0	-	-	-1.6	-



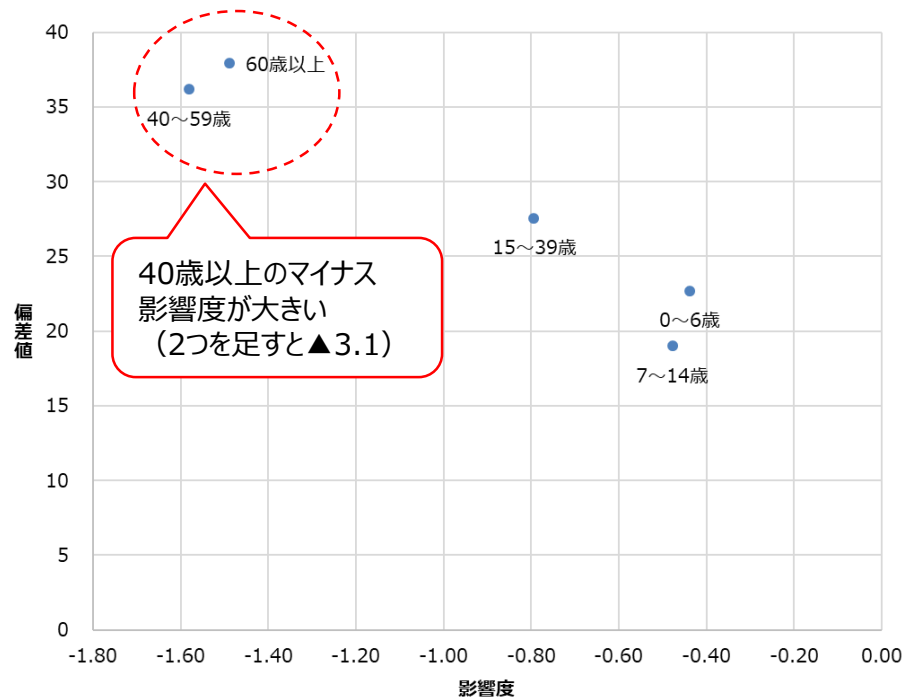
※影響度は偏差値50からの差分が、県全体のジェネリック医薬品使用割合に与える影響を示す。  
例えば、影響度が-1.0ならば、当該指標が県全体のジェネリック割合を1.0ポイント引き下げている。

※一般名処方率、加入者ジェネリック拒否割合の影響度は全国傾向に基づいた推計値のため、母数が少ない地域では大きな誤差が生じる可能性がある。

# 高知支部の課題について

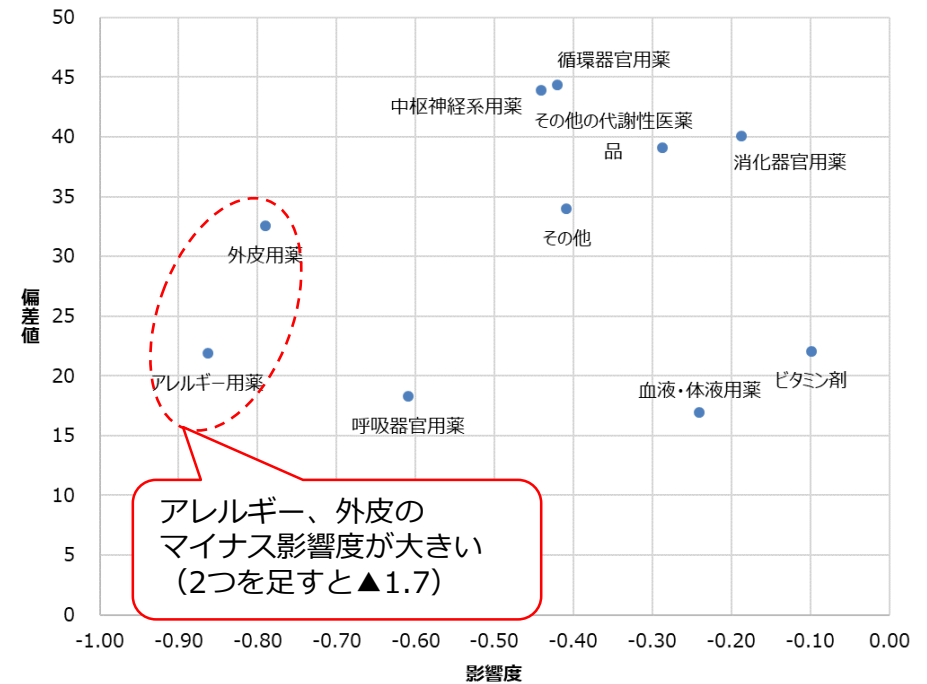
## 年代別

	0～6歳	7～14歳	15～39歳	40～59歳	60歳以上
影響度	-0.4	-0.5	-0.8	-1.6	-1.5



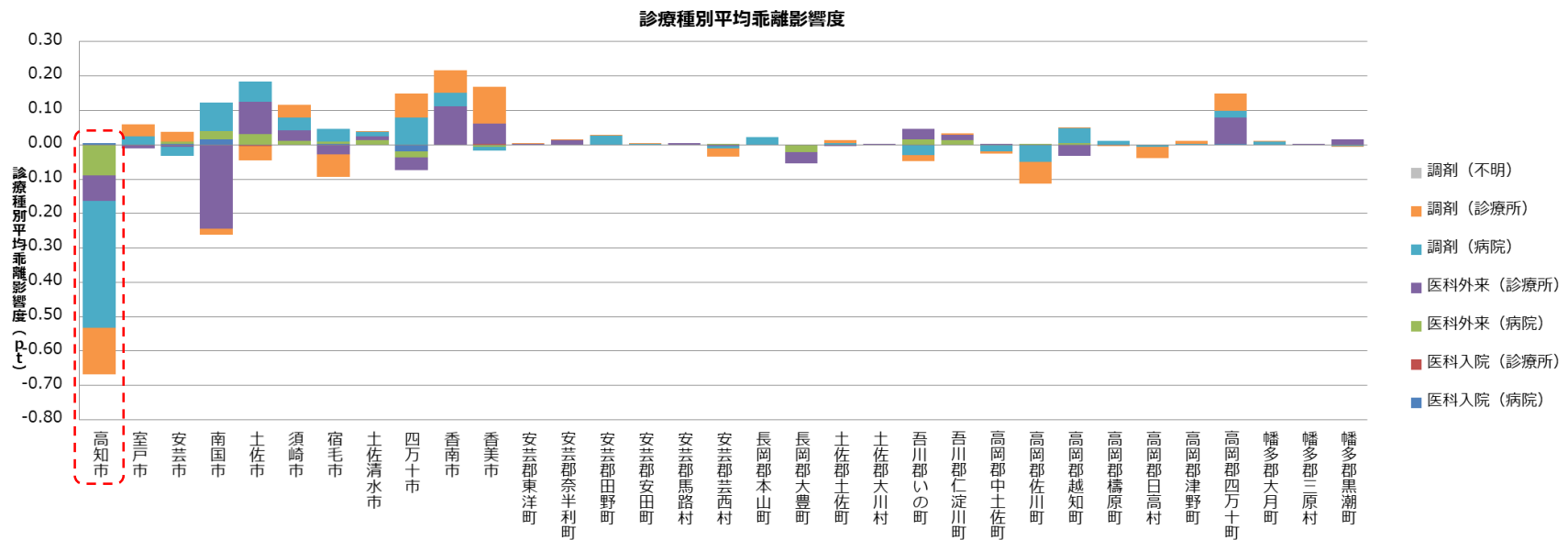
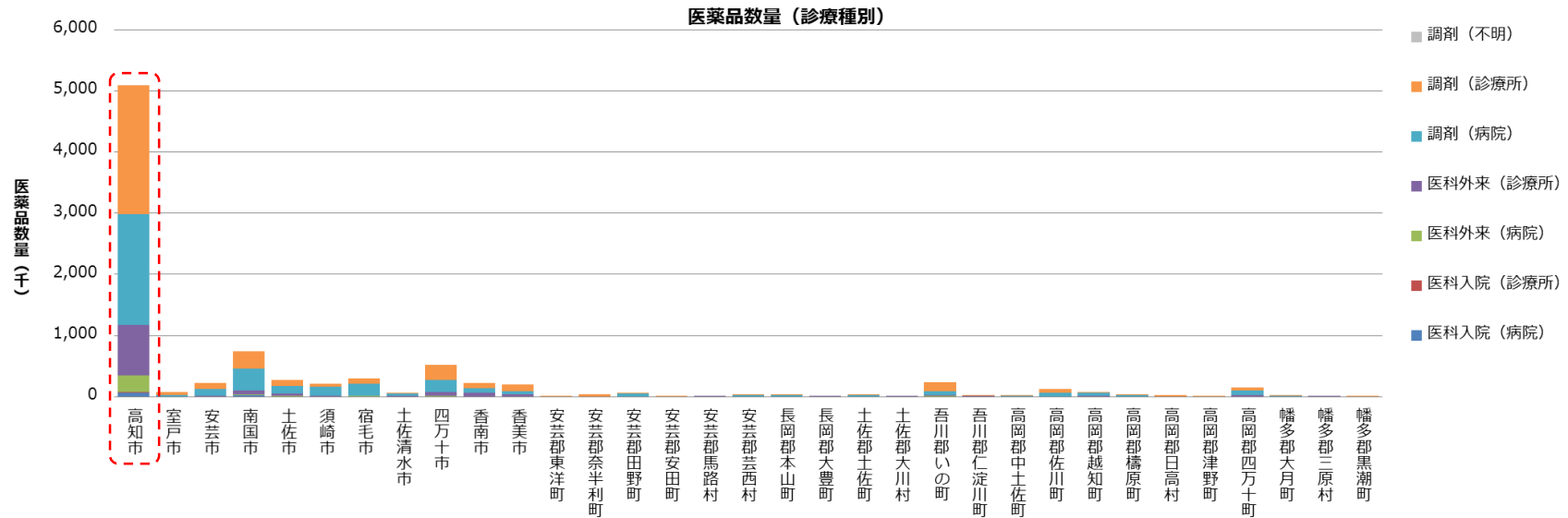
## 薬効別

	循環器官用薬	中枢神経系用薬	消化器官用薬	アレルギー用薬	外皮用薬
影響度	-0.4	-0.4	-0.2	-0.9	-0.8
	血液・体液用薬	その他の代謝性医薬品	呼吸器官用薬	ビタミン剤	その他
影響度	-0.2	-0.3	-0.6	-0.1	-0.4





# 高知支部の課題について



<これまでの取組と今後の重点施策について>

高知支部の健康課題から見た今後の取り組みについて

疾病分類から見た高知支部の健康課題

疾病の状況

高知支部の入院医療費（2022年度・被保険者）は“**損傷等の疾患**”、“**筋骨格系等の疾患**”、“**新生物**”、“**妊娠、分娩および産じょく**”、“**循環器系の疾患**”、の順に医療費が高くなっている。

<罹患の多い疾病（細分化）>

- |                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| ・その他の悪性新生物（腫瘍）     | ・その他の神経系の疾患       |
| ・その他の損傷および損傷等の疾患   | ・脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群 |
| ・その他の損傷及びその他の外因の影響 | ・関節症              |
| ・骨折                | ・結腸の悪性新生物（腫瘍）     |
| ・その他の周産期に発生した疾病    | ・その他の脳血管疾患        |
| ・その他の妊娠、分娩及び産じょく   | ・その他の心疾患          |
| ・脊椎障害（脊椎症を含む）      | ・脳梗塞 など           |

- **新生物系の疾患**  
→ 健診受診勧奨による早期発見
- **外傷性の疾患**  
→ 運動支援などによる予防
- **循環器系の疾患**  
→ 生活習慣改善による予防医療

入院原因の多い疾病予防に向けて

○入院原因が多く、疾病予防として効果を期待できる疾病として**循環器系の疾患**を対象とした対策を検討する。

**支部として考えられる施策は？**

- ・循環器系の疾患に対して**重点的に対策**すべき取組としてどのような施策が考えられるか？

<現状の主な施策>

- ・特定保健指導（生活習慣改善指導）
- ・未治療者への医療機関受診勧奨（早期治療）
- ・ポピュレーションアプローチ  
（体重を増加させない生活習慣の定着に向けた広報）

## 高知支部の健康課題から見た今後の取り組みについて

### 健診結果から見た高知支部の健康課題

#### 目標とする検査値の改善

健診結果に基づき、高知支部として重点的に取り組む「検査値」については、代謝（血糖）リスクの改善を図ることを前提とする。

- ①代謝（血糖）リスク保有者の割合は、全国と比較し男女とも高い状態にあること。
- ②生活習慣を見直すことにより改善が期待できる検査値であること。
- ③代謝（血糖）リスクの改善は、循環器系疾患の予防についても期待できること。



#### 目標とする検査値の改善に向けた取り組み

○目標とする検査値の改善については、どのような取り組みが必要か？

**支部として考えられる施策は？**

・支部として実現可能な取り組みは何か？

#### <想定される取り組み>

- 代謝リスク保有割合を前提とした場合
- ・体重増加をさせない生活習慣定着に向けた広報
- ・食生活、運動習慣改善に向けた働きかけ（県・自治体等との連携、事業所訪問等）

## 業態別のアプローチ方法について

### 業態別に見た高知支部の健康課題

#### 業態別の医療費の状況

業態別の入院医療費（2022年度・被保険者）では“医療業・保健衛生”、“総合工事業”、“卸売業”の順に医療費が高くなっている。

#### <医療業・保健衛生で多い疾病>

- ・新生物
- ・循環器系の疾患
- ・妊娠、分娩及び産じょく

#### <総合工事業で多い疾病>

- ・新生物
- ・循環器系の疾患
- ・筋骨格系及び結合組織の疾患

#### <卸売業で多い疾病>

- ・新生物
- ・循環器系の疾患
- ・消化器系の疾患

#### 業態別のアプローチの検討

○入院医療費の高い業態に対するアプローチが必要  
支部として考えられる施策は？

- ・介入効果が見込める業態と事業所の選定
- ・各種業態へのアプローチ方法検討
- ・その他、どのような施策が考えられるか？

#### <想定されるアプローチ方法>

- ・事業所訪問
- ・各種会合等への参画
- ・業界紙などへの広告 等

## <ジェネリック医薬品使用促進>

<p>①課題</p>	<p>◎ジェネリック医薬品使用割合は76.8%で、80%に届いていない。(令和4年10月診療分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・院内処方、院外処方ともに診療所のマイナス影響度が大きい(▲3.2)</li> <li>・40歳以上のマイナス影響度が大きい(▲3.1)</li> <li>・アレルギー、外皮用薬のマイナス影響度が大きい(▲1.7)</li> </ul>
<p>②これまでの取組と評価</p>	<p>&lt;これまでの取組&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調剤薬局を通じた、「今日から薬はジェネリック」と記載したお薬手帳ホルダーの配付(R4.11)</li> <li>・各医療機関等のジェネリック医薬品使用割合や地域の使用実績をお知らせ(R5.1)</li> <li>・こうち春花祭りでの広報(R5.5)</li> <li>・ジェネリックへ切り替えた際の自己負担軽減額通知等の発送(R5.8~9)</li> <li>・高知市医師会の会報誌を活用したジェネリック医薬品使用促進広報(R5.8)</li> </ul> <p>&lt;評価&gt;</p> <p>R5.5現在 78.4% (2022年度平均76.9%、2021年度平均76.2%)</p>
<p>③今後の重点施策とその検証方法</p>	<p>◎課題を踏まえた対象者を重点化した取組を実践する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・影響度の大きい市町村、医療機関を中心とした啓発</li> <li>・高知市役所保健医療課と連携</li> </ul> <p>&lt;今後の重点施策と検証方法&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポケット付きA5クリアファイルを使用したお薬手帳ホルダー作製(R5.11納品予定)</li> <li>・テレビのミニ番組やCM、インターネット広告、ポスター掲示等を活用した広報(R5.11下旬~予定)</li> <li>・医療機関・調剤薬局毎のGe医薬品使用割合のお知らせ(R5.11予定)</li> <li>・高知市と連携した若年層のいる家庭への広報(R5.12予定)</li> <li>※高知市立小中学校の児童に冊子を配布</li> <li>・影響度の大きい医療機関や調剤薬局への訪問(R5.10~)</li> </ul> <p>[検証方法]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①市町村、年齢構成別の使用割合の推移を比較し、効果を検証</li> <li>②訪問した医療機関における使用割合の推移を比較し、効果を検証</li> </ol>